

これまで

○2011年4月 AYAワークショップ「はるをかいてみよう!」【子どもゆめ基金助成事業】

ABIKO'sにていずみ絵画教室の山口敬子先生を講師に、二度目の絵画ワークショップを行いました。今回は「はる」をテーマに、チューリップの絵を描きました。子どもたちはそれぞれ本物のチューリップの花を手に取り、普段は見ないような花の内側まで観察しながら絵を描いていました。集まった子どもたちのそれぞれの感性で描かれた絵は、昨年同様フィンランドで展示を行います



○「2010年9月、フィンランドでの展示会」

5月のワークショップで子どもたちが描いた絵を、フィンランド・エスポウ市に拠点を置くヘヴォセンケンカ劇団のギャラリーに展示しました。展示会には現地の子どもたちが多く集まり、はじめて見る「こいのぼり」に興味深々でした



○2010年3月 市民活動フェアに参加

我孫子市で開かれた「市民活動フェア2010」に参加しました。当日はブースを設けて団体の紹介をするとともに、ステージでアピールを行いました。



○2010年10月 ヘヴォセンケンカ劇団公演「おぼけのパーティ」

2009年と同様、フィンランドからヘヴォセンケンカ劇団を招き、我孫子市内各所で人形劇公演を行いました。25日、26日は学童保育室での公演でしたが、

現地でもなかなかしない巡業公演という形をとったことで、子どもたちもいつも遊んでいる保育室が劇場へと変わったことに驚きと感動を感じてくれたようでした。

30日、31日の一般公演は中央学院大学の学園祭で行ない、4回の公演は全公演が満席となり、座席を急遽追加で用意しなければならなくなるなど、うれしい悲鳴が上がりました。



○2009年1月 ヘヴォセンケンカ劇団公演「チンパンジーのブルーノ」

フィンランドのエスポウ市からヘヴォセンケンカ劇団を招き、人形劇の公演を行いました。一週間をかけての公演は児童向け公演、一般向け公演にわかれ、児童向け公演では無料で市内の700人の子どもたちを招待しました。チンパンジーと男の子とが友だちとなり成長していく物語で、公演はフィンランド語であったにもかかわらず、子どもたちはとても集中して公演を鑑賞していました。

